

SELF- KNOWLEDGE TOOL

Vol.3

-ES対策編-

INTRODUCTION

皆さん、その後就職活動は順調に進んでいますでしょうか？
そろそろエントリーする企業を絞り始めたり、早い人は選考参加に向けて志望動機や
エントリーシートを作成し始めたりする時期ではないでしょうか？

今回は、

- ✓ 企業選定時に陥りやすい状況と対策
- ✓ ESを書く際に意識すべきポイント
- ✓ 個性タイプごとのエントリーシート例
- ✓ 個性タイプごとの選考参加の傾向

をお伝えします。

改めて自分の個性を認識し、その上で効率良く就職活動の準備を進めていきましょう。



エントリーシートや志望動機を作成するために

エントリーシートは数多くの企業が導入し、その中で志望動機や自己PRを書く必要があります。自身の経験やその会社への思いを伝えるために、自分らしいエピソードを用意し、スムーズに話を展開していく必要があります。

より自分らしいエピソード展開ができるように、「自分がどのような人間で、どのように考えているのか」を明確にした上で取り組んでいきましょう。

これからお伝えする内容は、セプテーニグループの応募者・内定者データベースの中から「解決・直観」タイプの学生に見受けられる傾向をもとに抽出しています。

01 前回の振り返り あなたの個性タイプ（再掲）

個別的特性診断をもとに導き出されたあなたの個性タイプは、

解決・直観タイプ です。

このタイプは、継続的に物事の改善をしていくことができ、

周囲に合わせて柔軟な行動ができる人です。

相手の都合を理解し、周囲の意見を尊重するので、聞き上手な一面があります。



タイプの特徴

現状を継続しつつ、改善を積み上げていくことが得意なタイプです。良いものを残しつつ、悪いものを改善しながら目標を達成していきます。興味のあることを極めることに積極的です。

新たな情報に対して、物事の全体像を理解し、計画性を持って取り組むことができます。

その中で、基本的な内容から順を追って確認していこうとします。何か問題があったときにも、継続的に工夫改善していくことが得意です。

期待されれば、期待された以上の結果を出そうと頑張り、人を喜ばせるためには努力を惜しまないタイプです。

Ⅰ ネガティブな状態になると

相手に指示を出す場合、まず、自分がある程度全体像を把握するまでは、人に任せることができず抱え込んでしまいがちです。

順調に進んでいる場合でも心配になりやすく、何度も確認してしまいます。

範囲をつかめないまま新しいことをやろうとすると、今までのやり方で何とかしてしまおうとします。

何も決まっていない状態で、一から自分で作り上げることは苦手なタイプです。

やり方やルールが明確になっていないと不安になります。

相手がどう思っているのか、反応を窺って自己主張をあまりしません。自分の考えたアイデアや発言を否定されるとひどく落ち込みます。

Ⅱ 口癖

「このまま様子を見ましょう」「無難」「安全に」「確実に出来ることから」

02 解決・直観タイプが企業選定時に陥りやすい状況と対策

自己理解や業界研究を終えた後には、志望企業や志望業界を選びエントリーが始まります。この時期に陥ってしまう状況やその対策方法はタイプによって異なります。事前にその状況や対策を把握しておくことで、客観的にその事実を捉えて冷静に対処していきましょう。すでに選定を行っている方も、改めて考えてみましょう。

パターン①

インターンシップや選考に参加する企業を選ぶ際には、まず始めに大手企業や周りの人が知っている企業にエントリーする傾向がある

対策

解決・直観タイプのあなたは、初めのうちは自分に合っているかどうかよりも周りの人や一般的に良いと言われている企業の方が安心だという理由で関心が向いてしまう人が多いです。

しかし、働き方が変容し、キャリアが多様化していく中で、自分の個性に合った環境を選んでいくことはとても重要になってきているので、自己理解を深める中で自分に合っている業界や企業を見極める必要があります。

パターン②

様々な業界の会社説明会に参加する中で、業界を絞り込むのに時間がかかってしまったり、
どこか一つには受かりたいという不安な思いから創造タイプ（解決タイプの逆）の人に比べてエントリーする企業が多くなったりしてしまう

対策

自分の本当に行きたいと思う企業を選んで選考に参加する企業を決めなければ、とりあえずエントリーしてしまった企業の選考の予定でいっぱいになってしまう可能性があります。

自分の志望しない企業の選考に行ったとしても上手く考えが伝わらないため通過できず、
結果的に就職活動が長引いてしまう要因の1つにもなり得るので気を付けましょう。

SELF-KNOWLEDGE TOOL

パターン③

就職活動全体のスケジュールを把握していない状態で行動してしまうと取り掛かりに時間がかかったり、上手く進まなくなったりしてしまう。

対策

解決・直観タイプのあなたは、全体像を理解することで計画性を持って行動することができるので、就職活動を始める際はまず就職活動全体のスケジュールを理解し、準備を進めることでより効率的に進めることができるでしょう。

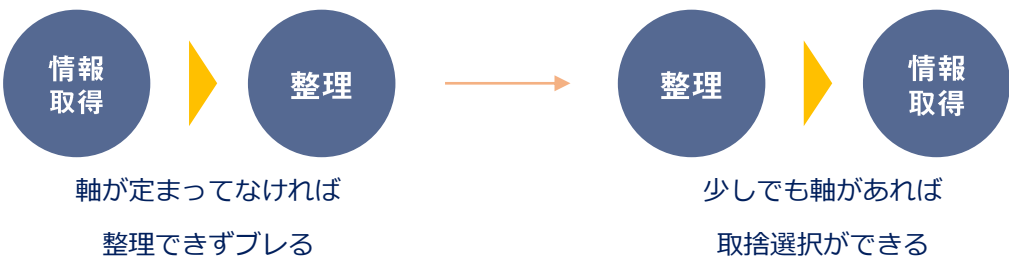
しかし、計画に縛られすぎてしまうと、途中で予定通りに進まなかったときに思考や行動が止まってしまうのでその点は注意しましょう。

企業選定時のワンポイントアドバイス

数多くの説明会に参加し、多くの企業や業界にエントリーをしているが、結局何が良くて何が悪いのかよくわからない、という感情からストレスを感じてしまうことがあるかもしれません。

解決・直観タイプのあなたは、柔軟な考え方で事前に対策やリスクを考えることで確実性を高めていくことができる良さがあります。しかし、もし上記のようなストレスを感じてしまう場合は、その柔軟さが故に明確な軸が定まっていない、または漠然とした不安が先行して行動してしまっている可能性があります。

こういった場合は、自分の中で整理する時間を設けることをオススメします。漠然とした将来像を明確にしていくことができれば、行動の順序付けができるようになり、自分の基準のもとに企業を選定していくことができるでしょう。友人や先輩との会話や企業説明会は、自分の軸と照らし合わせるという目的を持って行うことで、意味のある情報取得に繋がっていくでしょう。焦らず、行動と経験を重ねていく中でブラッシュアップしてきましょう。



03 ESを書くにあたって

志望企業へのエントリー後には、エントリーシート（ES）を書いていくことになります。ESの記入にあたって、事前に意識しておくべきポイントがあります。そのポイントを以下に記載しました。ESがどのようなもので、何が必要かを理解することで、戦略を立てて書いていきましょう。

●自己理解度が試される

ESは数多くの企業で導入されている、学生が企業に対して提出する書類の一つです。内容の多くは、基本情報（経歴や学歴など）、自己PR、そして会社への志望動機から成ります。ある調査^(※)では、企業が採用基準で重視する項目として、第一に「人柄」を上げており（回答企業の92.1%）、またこの第一位の項目が長年変わっていないということから、ESを通して企業は「人柄」を理解したいということが伺えます。これから考えても、ESを書くにあたっては、「自分がどういう人」で、「なぜそこを志望しているのか」が自分の中で明確になっている必要があると言えるでしょう。

※：「就職白書2018」株式会社リクルートキャリア

●長期的な視点でエントリーシートを書こう

ESを一次選考として、ES通過者のみ面接に参加できるという企業は多くあります。そういった場合の面接では、往々にしてESに書かれている話を元に質問が進みます。ESの通過だけを目的として書いてしまっていては、面接担当者から「身に覚えのない」質問をされて固まってしまう、ということも想定されます。ES通過だけを目的とせず、その後のことも想定して書いていきましょう。しかし、一つ一つのESに書いた内容を覚えておく必要はありません。「自分がどういう人であるか」ということをしっかりと理解していれば、細かいエピソードや表現方法は変わったとしても、「なぜそう考えたか」は変わらないはずです。自分の行動や思考のパターンを理解することが必要です。

04 (解決・直観タイプ) ESのポイントとES例

実際にESを書く際には、あなたの個性に応じたキーワードを意識することで、よりあなたらしいエピソードに仕上がるはずです。

あなたのタイプに合わせたポイントと、記載例を記載しました。ぜひ参考にしてみてください。

※Vol.1では、よりシンプルな【自己PR】の紹介を行っています。

【解決・直観タイプ】に合うキーワード

長期的、継続する、慎重に、几帳面に、計画する
協調、コミュニケーションをとる、仲間を気にかける
直感的に、感情面で、柔軟に対応する

【解決・直観タイプ】に合わないキーワード

積極的に、前例のないことに挑戦、効率良く、新たな
発想で、合理的に判断、論理的、事実をもとに

自己PR文のポイント

自分の「何を」魅力として伝えるかを決めて、具体的なエピソードを端的に記入していきましょう。その際、「なぜ」「どのように」という箇所があなたらしさを伝えるポイントになります。

解決・直観タイプのあなたは、**協調性を持ちながら継続的に行動・改善をすることに長けている**ので、それに付随したエピソードは相手に伝わりやすいでしょう。

志望動機のポイント

ただ「入りたい」、と言うだけでは、読み手は他でも良いのでは無いかと感じてしまいます。相手の「環境」が自分に合っている、ということを伝えられるとより説得力が増すでしょう。

解決・論理タイプのあなたは、**柔軟な姿勢や課題解決を意識した行動に長けている**ので、そういったエピソードと絡めると自己PRとも一貫性が生まれ、さらに相手にあなたを想起させやすくなります。

※ 当社独自の理論にもとづいた見解であり、エントリーシートの通過や就職活動の成功を約束するものではありません

解決・直観タイプのエントリーシート例

1. 学生時代頑張ったこと、熱中したこと（600字

ver.）

私は、 ～～（時期）に～～（取り組んだ内容）に取り組み、～～（役割の内容）という役割をしていました。

ここで自分が行ったことは、簡潔にいうと～～（より具体的な取り組んだ内容）というものでした。

この取り組みは誰かがやらなければならない重要なことでしたので、自分が責任を持って着実に進めていこうと、仲間と協力しながら進めていきました。

当時は、 ～～（課題となる状況）という状況にあり、私はこの状況を～～（課題解決後の状況）したいと考えていました。

取り組んでいく中で、～～（具体的な問題の内容）という問題が起りましたが、その問題の原因を探っていく中で、～～（具体的な原因）という事実が明らかになりました。

それに対して私は、～～（具体的にとった行動）をするなど、メンバーとしっかりコミュニケーションをとりながら計画を立て、長期的な目線で全体が一丸となって動けるような立ち回りを心がけました。

その結果、～～（具体的な結果や、数字で表すことができる実績）という実績を上げることができたと認識しています。

自分の想いと周囲の想いが食い違い失敗したことも沢山ありました。

しかし、この経験から、諦めずに粘り強く周囲と意識のすり合わせを行い、柔軟に計画を組み立てていくことが、チームでのパフォーマンスを最大化することに繋がり、最終的な目的を達成できることを学びました。

解決・直観タイプに合うキーワードを元に作成したエントリーシート例です。 **行動の事実だけでなく、「なぜ」「どう考えて」という背景を具体的に記載することで読み手のイメージが深まります。**赤字で表記されているキーワードを活かすエピソードを描写することで一貫性を出していきましょう。
取り組みの例や、細かい表現などは自分なりにアレンジを加えてみましょう。

※ 当社独自の理論にもとづいた見解であり、エントリーシートの通過や就職活動の成功を約束するものではありません

SELF-KNOWLEDGE TOOL

2.志望動機（400字ver.）

私の目標は、 ～～（未来）に～～（自身の理想像）であることです。
～～（過去）に～～（簡潔なエピソード）を体験したことが今の私の考えに繋がっています。
この目標を達成するためには、私は～～（必要な経験やスキル）を得る必要があり、**多くの利害関係者との関わりの中でPDCAを数多く回していく環境**を欲しています。
私は～～（過去）に、 ～～（簡潔なエピソード）という経験の中で結果を出し、成長してまいりました。
貴社には～～（志望企業で興味をひかれた情報）を始めとして、**社員一人ひとりの多様な個性が相互作用し、組織の成果や成長に繋がる環境**があると認識しております。
今後の～～（志望企業業界）において～～（志望企業の戦略）していく貴社で、自分を成長させ、**組織や社会に価値として還元したい**と考えています。

解決・直観タイプに合うキーワードを元に作成した志望動機例です。 **ただ「この会社が良い」と書くのではなく、自身の特性とその企業での活かし方を表現することが大事**です。「自己分析ツールVol.2-業界・企業研究編-」でお伝えしたように、企業や業界の「環境情報」^{（※）}を入手しておくことで、自分の思考や行動のパターンと紐づけて記載することができるでしょう。

※詳しくは自己分析ツールVol.2-業界・企業研究編-を参照してください

解決・直観タイプへの今後の提言

受験経験量を積む中で、理想の環境を見つける

- 協調性や継続性を評価する企業に好感をもたれやすい。
- エントリー企業数は多くなりがちだが、すぐに志望順位を決める必要はなく、課題に取り組む中で絞っていった方がいい。
- 業界や仕事にこだわらず、コツコツ説明会や選考会に参加する中で、自分の考えや志望度に自信をもてるようになる。

※ 当社独自の理論にもとづいた見解であり、エントリーシートの通過や就職活動の成功を約束するものではありません

おわりに

いかがでしたか？

本ツールが、皆さんにとって短時間で効率良く、
就職活動の準備を進めるための一助となれば幸いです。

また、今回の自己理解ツールvol.3を読んで
いただいた後に
お答えいただきたい**アンケートをマイページ
に表示しております。**
ぜひアンケートにご協力をお願いいたします。

今後のサービスを受けるためには回答が必須
となりますので、
できるだけお早めにご回答いただけますと幸いです。

次回の自己分析ツールVol.4は
【面接・グループワーク対策編】です！

[アンケートの回答はこちら](#)

[自己分析ツールWEBサイトはこちら](#)